



当院のDMAT隊員

## 病院理念

- 一、私たちは「患者さん中心の医療」を実践します
- 一、私たちは患者さんの安心と信頼を得るように努力します
- 一、私たちは医療人としての誇りと自信を持って行動します

## 特集

- 01 能登半島地震から1年  
DMATがみた被災地とは
- 04 病院長 年頭のごあいさつ
- 05 Information
  - ・看護師の特定行為研修を開始しました
  - ・病院ボランティアと病院長との食事会を行いました
  - ・診療日カレンダー



# 能登半島地震から1年 DMATがみた 被災地とは

## 令和6年能登半島地震について

参考：ウェブサイト「内閣府 防災情報のページ」

令和6年能登半島地震により、被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。皆さまが日常生活を取り戻されることを心よりお祈り申し上げます。令和6年能登半島地震は、令和6年1月1日16時10分頃、石川県能登地方においてマグニチュード7.6、最大震度7を観測。犠牲者は、死者401名、負傷者1,336名、行方不明者3名で住家被害も13万戸以上で被害がありました。（令和6年10月1日現在）

## DMATとは何か？

DMATとは、災害派遣医療チーム（Disaster Medical Assistance Team）の略称で医師、看護師、業務調整員（医療職もしくは事務員）で構成されています。DMATとして活動するためには、災害拠点病院に勤務し、さらに研修を受ける必要があります。また、DMATには「日本DMAT」と「都道府県DMAT」の2つがあり、活動範囲や管轄は異なりますが、医療支援を行うという目的は同じです。

## 日本DMATと都道府県DMATの違い

### ●日本DMAT【管轄 / 厚生労働省】

大規模災害、広域災害発生時に出動。医療支援と病院支援を行う。

今回出動

### ●都道府県DMAT【管轄 / 都道府県】

地域内の災害時に出動。傷病者のトリアージや搬送などの医療支援をメインに行う。当院は愛知県にあるため「愛知DMAT」として活動。

## 当院のDMAT人員

令和6年10月1日現在

- 日本DMAT 15名（医師4名、看護師5名、薬剤師3名、臨床工学技士1名、事務員2名）
- 愛知DMAT 7名（看護師3名、診療放射線技師1名、臨床工学技士1名、事務員2名）

# 地図からみる! 当院がおこなった災害派遣

※数字は活動した日付順

## 1 1月28日～5日 DMAT一次隊(6名) (病院支援・転院搬送)

落石・道路隆起・余震のなか、8時間かけ市立輪島病院に到着。DMAT調整員統括、物品管理・調達、金沢市内へ4名の搬送を行いました。



## 3 1月21日～26日 DMAT二次隊(5名) (避難所支援)

道路が完全に開通しておらず、また大雪が降るなか輪島市門前地区にて関係支援団体と共に巡回方法の確立等、避難所支援を行いました。



## 5 2月5日～15日 DMAT隊員(2名) (本部活動)

石川県DMAT調整本部(石川県庁)にて高齢者施設の調査、医療機関の物品支援、関係機関との調整を行いました。

石川県内の1.5次避難所となっていたいしかわ総合スポーツセンターで入所者の支援、退所先を決める支援を行いました。



## 6 2月22日～26日 災害支援ナース(1名) (入所者支援)

## 7 5月18日～25日 6月24日～28日 ソーシャルワーカー(2名) (退所者支援)

## 4 2月2日～4日 臨床検査技師(1名) (深部静脈血栓症健診支援)

珠洲市避難所で、深部静脈血栓症を起こしていないか健診する支援を行いました。この病気は、長時間の下肢を曲げた姿勢や運動不足等から引き起こされるものです。

## 2 1月10日～1月22日(数日間) DMAT隊員(1名)、 ソーシャルワーカー(2名)

(本部支援、高齢者受け入れ・退院支援)

高齢者受け入れ活動を行い愛知県内各医療機関で合計68名の高齢者を受け入れました。当院でも3名の受け入れと県内の高齢者施設への退院支援を行いました。



DMAT隊員にインタビュー

## 救援活動を行って感じたことは?

業務調整員/DMAT一次隊として1月28日～5日に出動

地震発生から2日たった1月3日、派遣先である石川県輪島市・市立輪島病院(以下、病院)に到着しました。

病院の中も大変な損壊を受けており、エントランスには天井からぶら下がりばなしの蛍光灯、備品などもそこら中に倒れたままで大変危険な状態でした。また、病院職員は地震発生から働き続けており、自宅に1度も帰ることができておらず疲弊した状況でした。

当院のDMATは二手に分かれ、医師・看護師の隊員は「入院患者を金沢市内へ搬送」、私を含む他の隊員は病院に残り病院の復旧業務にあたることになりました。

### ① トイレ問題

断水でトイレは流れないため、便器の中に袋を入れ排泄後は凝固剤を撒き、封をしてトイレ内のゴミ箱に捨てます。中身は見えないにしてもやはり抵抗感があり、トイレに行く回数が自ずと減ってしまいました。もし長期間この状態になったら体調も悪くなるため、トイレ問題は大変重要な課題です。

### ② 被災者との会話の中で感じたこと

輪島市内は停電・断水が続いていましたが、病院内は電気だけは通っており電気や暖房は使える状態でした。そのため怪我や病気をしていない市民が、安心や温かさを求めて大勢訪れていました。その方たちとお話した際、「これからどうしよう」の言葉しか出てこず悲しい表情を浮かべる姿を目の当たりにし、大変心が痛みました。いつどこで起きるかわからない災害のために、今できることはしておくべきだと感じました。

## 知っていますか? 「自助・共助・公助」

災害時は「自助・共助・公助」の3つが連携することが大切です。

自助=自分自身や家族で備えること

共助=地域で助け合うこと

公助=国や都道府県などの行政が取り組むこと

自助が災害の備えの基本となり、自助が成り立たないと共助へと繋がりません。

常に災害を意識して備蓄や避難場所などを確認してみましょう。



## 災害拠点病院として



当院は地域中核災害拠点病院に指定されており、この地域に大きな災害が発生した場合の医療救護活動において中心的な役割を担う使命があります。

能登半島地震での活動や、年に1度江南消防署との協力で実施する災害訓練などの経験を活かし、みなさんがこの地域で安心して暮らせるように、今後も地域医療を守る医療機関として医師会や地域の医療機関、消防署などと協力して活動していきます。

# 年頭のごあいさつ



あけましておめでとうございます。新しい年を迎えるにあたり、皆様にご挨拶申し上げます。

江南厚生病院は愛北病院と昭和病院の統合により2008年5月に開院し、尾北地域の中核病院として地域医療に尽力してまいりました。無事に17回目の正月を迎えることができましたことは、ひとえに地域の皆様の温かいご理解とご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。

世界に類を見ない高齢化が進む我が国では、かねてより「2025年問題」という言葉が頻繁に使われてきましたが、その2025年になってしまいました。日本の総人口に占める65歳以上の割合は約30%、75歳以上の割合は約17%です。当院が開院した頃（65歳以上22%、75歳以上10%）と比べても大きな変化が見られます。次のポイントは2040年と考えられており、その頃には65歳以上が35%、75歳以上が20%になると推計されています。

超高齢化社会における医療・介護の需要の変化への対応として、国が推進する「地域包括ケアシステム」を構築するためには、患者を中心とする医療・介護のシームレスな連携が必須であり、その中で当院が期待されているのは救急医療・急性期医療・高度専門医療を担うことです。地域医

療を守るためには、地域の医療機関や行政機関がそれぞれの役割に責任を持ち、これまで以上に密な情報共有を行い、地域全体で協力して医療・介護を提供する体制をしっかりと構築する必要があることを、今回のコロナ禍であらためて痛感しました。その役割を果たすために、当院では診療機能の充実を図るとともに、地域の医療機関や介護・福祉施設との連携を強化し、地域の皆様が必要な時に必要な医療・介護を適切に受けることができる地域づくりに貢献したいと考えています。

当地域の皆様が心身ともにより健やかに暮らすことができるよう、最新かつ最善の医療、そして心の通う医療を提供するために、職員一同なお一層の努力を続ける所存です。本年も引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

江南厚生病院 病院長

河野 彰 夫

## 看護師の特定行為研修を開始しました

news1



10月1日、特定看護師になるために当院の看護師3名の特定行為研修が始まりました。

特定看護師とは、医師や歯科医師の判断を待たずに、手順書に基づいて一定の診療の補助を行う看護師のことです。より多くの特定看護師がいることにより、医師の業務負担が軽減され、質の高い看護をタイムリーに提供できることが期待されます。



## 病院ボランティアと病院長との食事会を行いました

news2

10月30日、病院ボランティアグループ「いちごの会」のみなさんと病院長との食事会を行いました。これは年に一度行われる交流会で、食事を囲みながら病院長や管理職員と親睦を深めることを目的に行なっています。日頃の活動で感じることを伝えたり、病院長からは感謝状を贈呈するなどして有意義な時間となりました。



### ボランティアさん募集中

病院ボランティアの立場でできることをしてみませんか。  
あなたの参加をお待ちしています。

<お問い合わせ> **0587-51-3333**(代)  
担当:総務課または患者相談支援センター



## 2025年(令和7年) 診療日カレンダー

● 休診日(土曜・日曜は休診です)

1月							2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4							1							1
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	2	3	4	5	6	7	8
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	9	10	11	12	13	14	15
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	16	17	18	19	20	21	22
26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28		23	24	25	26	27	28	29
														30	31					

